



登壇者(左から神戸峰男氏、隈研吾氏、宮田亮平氏、黒岩神奈川県知事、渡邊舜(株)リビエラ代表取締役会長、渡邊華子(株)リビエラ専務取締役) (株)リビエラ提供

湘南を国際的な文化観光拠点にすることを目指す「湘南国際芸術祭」のフォーラムが1月26日(株)リビエラ逗子マリーナで行われた。

「湘南国際芸術祭」は、13市町からなる富士山を望む相模湾沿岸の「湘南コースト」地域を舞台に「ビエンナーレ形式の芸術祭を開催するプロジェクト。同地域で「様々なアートを展開し、作品が会期後も残ることで人々がアートを楽しみに湘南に来る流れを作りたい」(実行委員の渡邊華子氏)という。

一昨年11月に続き2回目となる今回、芸術祭の理念を深めようと、建築家・隈研吾氏の基調講演を実施。「建築家と海」をテーマに、国内外のコンペティションに携わった経験を挙げ、都市開発の視点から芸術祭の展望を語った。その中で、相模湾の広がりが持つ独自性を指摘。「湘南のポテンシャルを世界に発信できるイベントになる」と期待を寄せた。

第2・3部では金工作家・宮田亮平氏と彫刻家・神戸峰男氏のトークセッションが行われた。前半は隈氏、後半は黒岩祐治神奈川県知事を招き、官民両面から芸術祭成功に向けた課題について議論を繰り広げた。海からの視点に立ち「湘南コースト」の人・モノを繋ぐ同芸術祭。実現に向け、着々と基盤が整えられつつある。

「湘南国際芸術祭」開催 隈研吾氏基調講演&宮田氏・神戸氏 トークセッションで議論深める

湘南を国際的な文化観光拠点にすることを目指す「湘南国際芸術祭」のフォーラムが1月26日(株)リビエラ逗子マリーナで行われた。

新美術新聞

The Shin Bijutsu Shinbun Since 1971

2/15 550円
FEBRUARY 2025

(株)美術年鑑社
発行所:〒101-0054 東京都千代田区
神田錦町3-3 電話:03-3295-1635
発行人:油井一八 編集人:油井一八
E-mail: shinbun@art-news.co.jp

本号の主な記事

1面
信州から考える
絵画表現の50年 霜田英子
高山辰雄の芸術
藤代範雄ガラス作品展

2面
新美術時評 馬淵明子
美・友・人 桑山弥宏
笠井誠一の眼の
メキシコへのまなざし 吉岡知子
生誕100年 中村正義
丸地加奈子

3面
文化鳥瞰 田淵俊夫氏・文化功労者
那波多目功一氏 記念祝賀会
通信アジアへ 青木保

5面
作品探訪 市川明枝 (Offering Myself)
小景画情 宮城崇・能島和明
墓参日記 高橋由一

6面
アートの交差点